

### 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信濃大町山岳フェスティバル 2015
事業主体 (連絡先)	信濃大町山岳フェスティバル実行委員会 (大町市大町 3887 大町市役所観光課内)
事業区分	6ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,662,200 円 (うち支援金: 2,050,000 円)

#### 事業内容

- ① 「山岳画家・山川勇一郎デッサン展」  
開催期間: 8/1~8/16 会場: JR信濃大町駅前  
⇒ 山岳博物館所蔵品の展示。来館者: 454人
- ② フェスティバル(メインイベント)  
開催日: 9/12(土) 会場: 大町公園一帯  
⇒ FM長野公開生放送、ステージ演奏、  
山岳博物館無料開放、ボルダリング体験 他
- ③ 紅葉トレッキング 高瀬渓谷  
開催日: 10/4(日) ⇒直前の豪雨で吊橋・登山道  
破損により中止。
- ④ 地元小中学生スポーツライミング教室  
開催日: 10/12(月・祝) 会場: 県人口岩場  
⇒ 地元小学生 20人参加



【9/12 フェスティバル】

#### 【目標・ねらい】

- ① 山岳文化・観光の振興普及
- ② 情報発信

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 山岳文化・観光の振興普及  
⇒ 4つの事業(うち1つは中止)を通じ、多くの参加者・来場者(約1,500人)があり、当地域の山岳文化等体感いただくことにより親しみきっかけづくりとなった。特に今年初めてしたクライミング教室については好評であった。
- ② 情報発信  
⇒ 9/12 フェスでは、FM公開生放送を実施。地域の魅力や雷鳥関連の情報を発信。効果大。

#### ※自己評価【 B 】

【理由】  
・新規事業(①④)、またFM放送による情報発信等予定を上回る効果があった一方で、9/12 フェス入場者については1,000人に止まり、昨年を下回ったため。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

現在の取り組みは、広く浅く当地域の山岳に親んでもらう意味合いが強い。このような取り組みから、今後、地元関係者と調整をしながら、ターゲット等を絞り込んだ事業を展開していくことが必要だと感じている。一方で観光の側面が強い事業ではあるが、スポーツライミングなどは要望も強く、地元の子供たちへの普及促進をさらに図れるような方策を講じたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある